

平成31年3月 日

長岡市長 磯田 達伸 様

与板地域委員会

委員長 長谷川 一夫

与板地域の子育て支援に関する提案書

<はじめに>

与板地域は、合併地域の中では一番面積が小さいコンパクトな町であります。地域内には与板支所をはじめとする行政機関や、保育園から高等学校までの教育機関が置かれ、その他、医療機関もあります。

また、旧黒川の河川敷地内に整備された河川公園には子どもたちが楽しめる遊具が数多く設置されており、休日ともなると親子で賑わっています。さらには、伝統的な祭りや多彩な行事が多くあることから、環境に恵まれた子育てのしやすい地域と認識しています。

しかしながら、少子化による人口減少が進み、10年前と比較すると人口は773人減少し、世帯数は112も増加しています。人口減は、自然減と社会減によるものであると推定でき、世帯数の増加については、核家族化の進展によるものと思われる。

このような現状を踏まえ、地域住民が「5年後、10年後、与板に住んで良かった。」と思える地域を念頭に、第6期に引き続き子育て支援を中心に議論を重ねてきました。

<審議経過>

第6期では、子育て世代が与板地域をどのように感じ、何を望んでいるかを把握するため、最終的には平成28年12月に保育園、幼稚園、小学校1・2年生の保護者を対象に、子育てアンケート調査を実施しました。

第7期では、このアンケートの分析を通して、子育てと子育てを支援する親族などを含め、子育てを取り巻く現状や課題が見えてきました。今よりさらに子育てし

やすく、安心して子育てができる街を考えたとき、やはり働いている保護者への支援が求められます。

こうした観点から、以下の3項目について検討くださるようお願いします。

＜提案事項＞

1 休日、長期休業中における支援の拡充

(1) 児童クラブの休日開館

児童クラブは日曜日が休館日であり、日曜日勤務の共働き家庭は利用できない状況であるため、勤務体系の多様化に対応した運用について検討くださるようお願いいたします。

(2) 長期休業中における支援の拡充

長期休業中の運動や昔遊び、工作などの勉強ができる場や機会への支援の拡充をお願いします。併せて、これらの周知方法も従来の紙媒体に加え、電子媒体の活用についても検討くださるようお願いいたします。

2 病児・病後児保育に対する支援の拡充

核家族化や夫婦共働き家庭が増加する中、病児・病後児保育施設は重要な役割を果たしているが、更なる環境整備をお願いします。

3 「与板地域 子育てアンケート調査結果」の活用

長岡市では、すでに子育ての駅や子育て世代包括支援センターの設置など画期的な施策を展開されています。

このたびの「与板地域子育てアンケート」に集約された子育て世代の多様な意見を、今後の子育て支援事業に活用くださるようお願いいたします。